

# そぞろ歩きを誘発する空間要素に関する研究

— 江の島を対象として —

土田 果奈

指導教員 高見沢実教授 野原卓准教授 尹莊植助教

## 1. 研究の背景と目的

日本全国様々な観光地においてまちづくり整備が行われている。そぞろ歩きの創出は複数の観光地で整備計画の目標として定められ、様々な施策が講じられてきた。しかし、“そぞろ歩き”の持つ漠然としたイメージが影響し、整備がうまくいかない事例も発生している。本研究では曖昧な事象である“そぞろ歩き”がどのようなものであるのかを捉え、それを誘発する空間要素を抽出することを目的とする。研究対象としては、観光客数が過去20年で1000万人増の藤沢市のメインエリアで、店舗の立ち並びや自然の広がり等様々な景色による豊かなそぞろ歩きが行われていると考えられる江の島を選定した。

## 2. そぞろ歩き研究に向けて

### 2.1. そぞろ歩きの定義

“そぞろ歩き”を正確に捉えるため、定義付けを行う。本調査に先駆けて江の島で事前歩行者観察調査を実施し、歩行者の行動の特徴を得た。結果より、ある地点における行動(i)、ある地点間における行動(ii)、ルート全体における行動(iii)と分類ができた。

(図1) 言葉の意味も含め、“そぞろ歩き=外的要因により心が動くことで(i)~(iii)それぞれにおいて図中の行動をしながら歩くこと”と定義する。

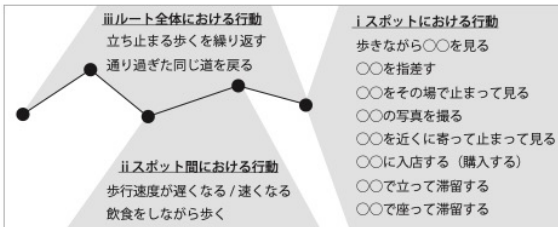


図1. 事前歩行者観察調査結果

### 2.2. 研究方法

そぞろ歩きは(i)~(iii)の3段階の要素によって創出されていると考えられるが、本研究ではその基礎的要素だと考えられる、ある地点における行動の分析を行う。追跡調査を行うにあたって、ある地点における行動(i) (事前歩行者観察調査より) をそぞろ歩き行動と設定して(表1)、それがみられた地点を

スポットとする。スポットの抽出により、そのスポットを構成する空間要素が抽出できる。(図3) 調査エリアは図2のように3エリアを設定した。

| そぞろ歩き行動 |                 |
|---------|-----------------|
| A       | 歩きながら〇〇を見る      |
| B       | 〇〇を指差す          |
| C       | 〇〇をその場で止まって見る   |
| D       | 〇〇の写真を撮る        |
| E       | 〇〇を近くに寄って止まって見る |
| F       | 〇〇に入店する(購入する)   |
| G       | 〇〇で立って滞留する      |
| H       | 〇〇で座って滞留する      |

表1. そぞろ歩き行動



図2. 調査エリア

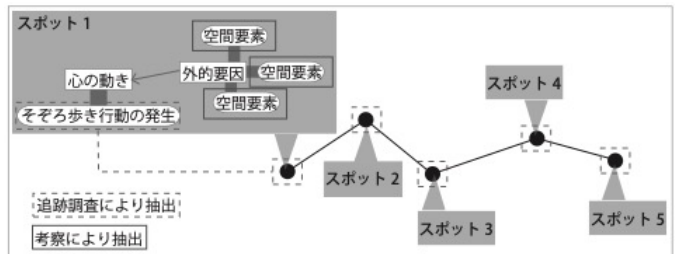


図3. そぞろ歩き概念と研究による抽出項目

## 3. 江の島におけるそぞろ歩きの実態と空間要素の抽出

### 3.1. 追跡調査概要

8月下旬~11月上旬にかけて13日間、追跡調査を行った。(表2)

|    | 調査組数 | 調査人数 | スポット数 | みられたそぞろ歩き行動種類 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|----|------|------|-------|---------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|    |      |      |       | A             | B | C | D | E | F | G | H |   |   |
| 西町 | 26   | 62   | 47    | ○             | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 山  | 26   | 58   | 56    | ○             | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 臨港 | 19   | 45   | 23    | ○             | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

表2. 追跡調査概要

### 3.2. 各エリアのスポットとそぞろ歩き行動

各エリアのスポットごとに最も多い行動種類を抽出した。(図4) どのエリアも行動Aの割合が高いが、特に西町エリアで最も高い。山エリアでは他エリアよりも行動Dが多く見られる。臨港エリアでは行動Fが顕著に見られる。(行動種類は表1参照)

図4. エリア別そぞろ歩き行動種類割合

